主題を生み出す発想・構想の手立て

生徒の「やってみたい」を引き出し、自ら主題を生み出せる工夫をしています。
発想・構想に関する資質・能力を育み、生徒一人一人の表現の幅が広がるように配慮しています。

「自分ならば」という意欲を引き出す情景写真

活動の様子が分かる写真を見ることで、「自分ならばこうしてみたい」との意欲を引き出すとともに、活動のヒントにもなるので、生徒が主体的に活動に取り組むことができます。

日文の ここがこだわり

生徒の作品に向き合う眼差し手の動きを意識して撮影

撮影では、生徒の制作の邪魔にならないように気を付けています。最初はあえて私がよく見えるように教室の前から全体を撮影して慣れてもらい、少しずつ近寄って作品や制作中の手元を撮影します。マスクで口元の表情が見えない分、生徒の作品に向き合う眼差しや制作中の手の動きを捉えるように意識して撮影しました。生徒の作品に向き合う真剣さがより印象的に感じられるのではないかと思います。

フォトグラファー
アーク・コミュニケーションズ　田村裕未さん

1p.10-11「絵や彫刻との出会い」

制作の情景写真で具体的な手立てを示す。

思考のプロセスが見えるアイデアスケッチ

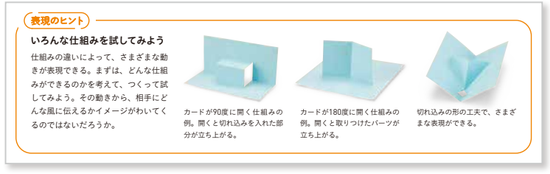
発想を引き出し、構想を深める手掛かりとなるアイデアスケッチを多数掲載しています。

1p.50-51
「暮らしを彩る土の造形」

2・3下p.38-39
「自分を表現する色」

発想・構想の手掛かり「表現のヒント」

全ての表現題材で、発想・構想の手掛かりとなる「表現のヒント」を掲載しています。発想・構想に関わる内容のほか、技能に関するヒントも掲載しています。



2・3上p.36-37「思いが飛び出すカード」

表現の参考にする作品と理解を深める作者の言葉

多彩な表現が分かる作家や生徒の作品、その作品の主題や工夫したポイントが示された作者の言葉を掲載しています。

作者の言葉
僕にとっての真夏はいつも短かったが、忘れられない思い出がいっぱいある。青空は時に悲しくもあり、あの人この人の顔が浮かんでくる。この絵はだれかの姿であり僕の姿でもある。

2・3上p.42-43
「その1枚が心を動かす」

作者の言葉
夏に使うものなので、すずしさを感じられるように青い瑠璃釉を使っています。

1p.50-51
「暮らしを彩る土の造形」

2・3上p.20-21
「イメージを形にすると」

アーティストの制作過程や授業で活用できる手立てを発想・構想の資料に

発想・構想に役立つ資料として、アーティストの鈴木康広さん、田中達也さんの制作過程と、中学生の造形活動に活用できる手立てを紹介しています。

1p.60-61「発想・構想の手立て②」
生徒が授業で活用できる具体的な手立てを多数提示している。

1p.58-59「発想・構想の手立て①
／鈴木康広、田中達也」

鈴木さんの制作過程の一部。
作家ならではの発想法が興味をひく。

全国の中学生が見つけた身の回りの美しさを知る

中学生が身の回りで見つけて撮影した「私の見つけた美」を掲載しています。全国の中学生がどのようなことに美しさを感じ、どのように表現したのかが分かり、発想・構想が深められます。

2・3上p.5-7「あなたの美を見つけて」

主体的な活動を実現する「学びを支える資料」

各冊の巻末に設定した資料ページは題材に対応し、生きて働く知識及び技能の習得が図れる構成になっています。
先生の授業準備の負担軽減も考慮しています。

題材に対応した技法資料

2・3上「人物をつくる」技法の説明動画

動画で技法を確認できる

いつでもQRコンテンツで技法の流れを確認できるので、個別最適な学習に役立ちます。

1「水墨画の表現」技法の説明動画

2・3上p.55「人物をつくる」

2・3下「動画で表現する」技法の説明動画

2・3上「人物をつくる」デッサン人形アプリ

デッサン人形アプリで動きを確認

画面上でデッサン人形を動かして、関節の動きや重心の位置等を確認することができます。

安全指導も細やかに

特に安全指導が必要な場面ではマークを示し、生徒への注意を促します。

注意しよう　針金の先でけがをしないよう、切ったらすぐにペンチで先を内側に丸めておきましょう。

2・3上p.55「人物をつくる」

Check! 技法動画の種類は ➡ 31ページをご覧ください。

日本色彩研究所監修の色彩資料

日本色彩研究所とは？
科学や心理学、芸術、教育など幅広い専門スタッフが在籍し、色彩に関する総合的な研究を行う日本で唯一の色彩に関する総合研究機関。

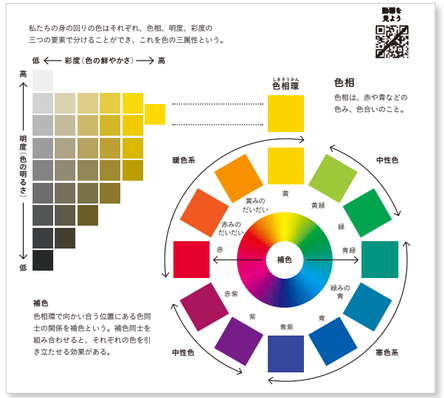
●日本色彩研究所の監修したページ

学年	内容	ページ
1	色彩の基本・しくみ	p.70-72
2・3上	日本の伝統色／色彩の特徴を深く知る	p.62-63
2・3下	世界の工芸品と色彩	p.59

2・3下p.59「世界の工芸品と色彩」
工芸品の形や色彩から、その国らしさを感じることができる。

見やすくなった色相環

視覚特性を持つ人も認識しやすいように配慮しています。



1p.70-72「色彩の基本・しくみ」

日本の伝統色や世界の色彩

暮らしの中に見られる日本や世界の色彩を分かりやすい図版を用いて掲載しています。

2・3上p.62「日本の伝統色」
季節や自然物から名付けられた意図を実感できる工夫をしている。

実感できる色の性質

色の持つ性質が、分かりやすい図版の例示によって実感的に理解できます。

1p.70-72「色彩の基本・しくみ」

多彩な図版で学びを深める鑑賞資料

2・3下p.54-55「絵巻物の世界」

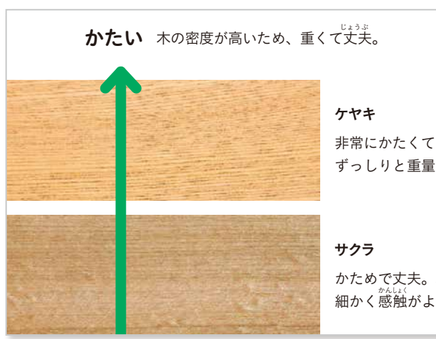
絵巻物ならではの面白さ

「鳥獣人物戯画」を一例に、絵巻物の表現の面白さを実感できるように工夫しています。

検索窓
資料ページの奇数ページ下には「検索窓」を設定。掲載している内容に関連するキーワードを提示し、さらなる主体的な学びを促します。

材料への理解が深まる図版資料

作品だけでなく、材料についての知識を深められる図版資料も数多く掲載しています。



1p.66-67「木でつくる」

4ページで紹介する美術史年表

日本美術と世界の美術について、各時代の解説も交えながら紹介しています。

2・3上p.58-61
「日本美術と世界の美術の歩み」

実感的理解を生み出す造本上の工夫①

折って立てられる屏風のしかけ

日文教科書では、生徒が知識を実感的に理解できるように造本上の工夫をしています。
美術1では両観音開きのページを使って、実際に折って立てて鑑賞できる屏風作品を掲載しています。

掲載作品は二つの国宝

A.風神雷神図屏風

1p.24-29「屏風、美のしかけ」

B.唐獅子図屏風

作品の詳細はコチラ

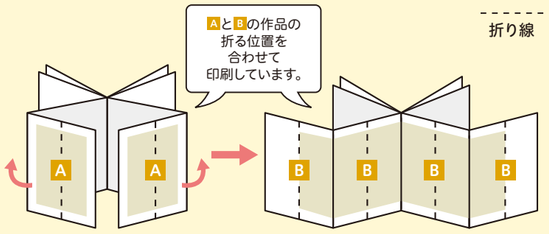
ColBase
(国立文化財機構所蔵品統合検索システム)

狩野永徳(かのうえいとく)が描いた16世紀の作品。折ることで奥行きが出て、獅子の体が立体的に見え、動きも感じられます。

俵屋宗達(たわらやそうたつ)が描いた17世紀の屏風作品。折ることで風になびく天衣(てんね)等が立体的に見えます。

教科書で実際にお試しください。

両観音開きのページを閉じた状態では
A「風神雷神図屏風」が、両側にページを開くと、
4ページを使って B「唐獅子図屏風」が
掲載されています。



各冊の両観音開きのページ(p.24～29)

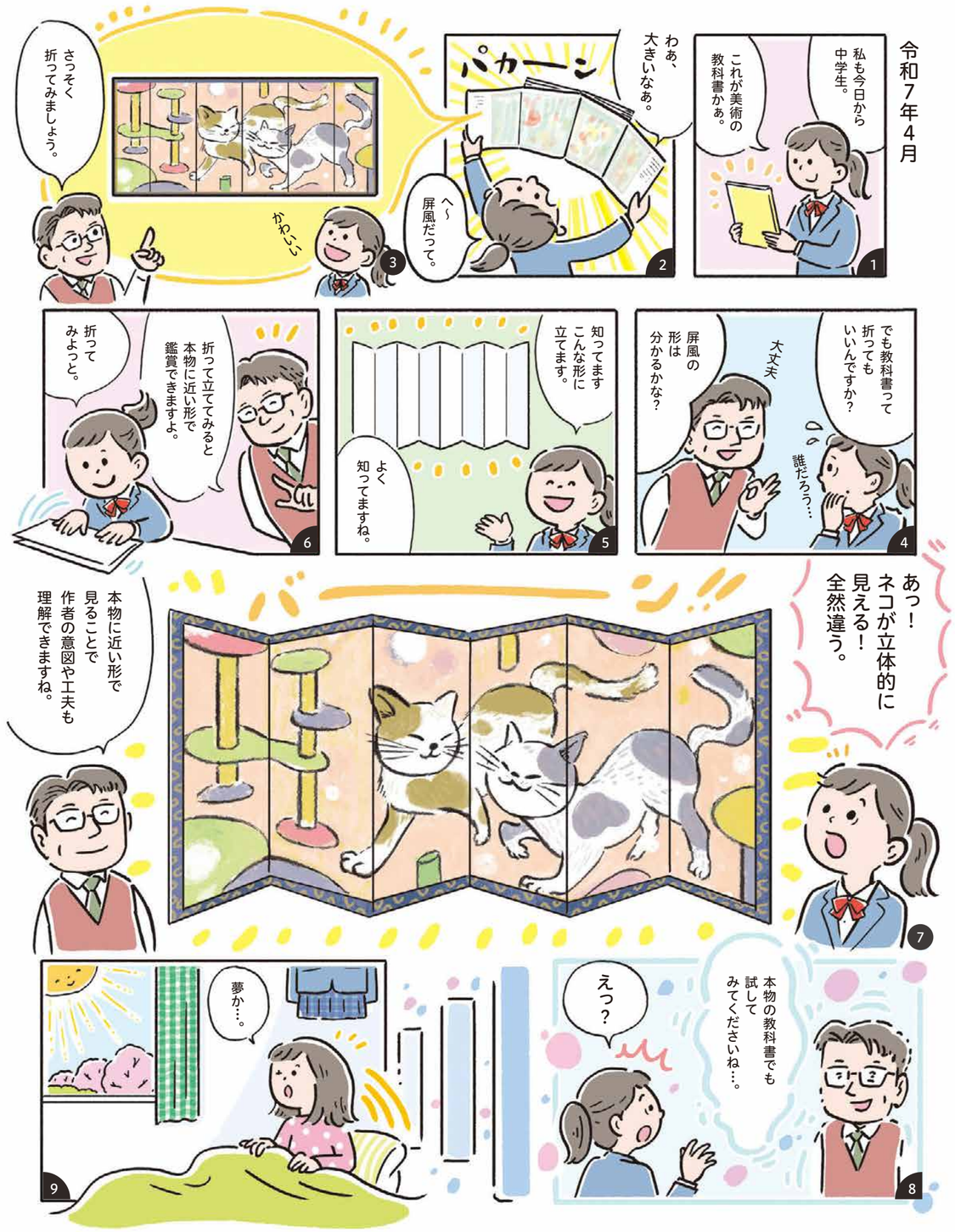
学年	作品
1	A 風神雷神図屏風 B 唐獅子図屏風
2・3上	A 鑑賞題材「浮世絵っておもしろい」 B「冨嶽三十六景」より 神奈川沖浪裏(原寸大)、三世大谷鬼次の奴江戸兵衛、「婦女人相十品」より ポッピンを吹く娘
2・3下	A 誕生(全図、原寸大部分) B ゲルニカ

TOPICS

感動が実感できる図版の工夫

教科書では、折って鑑賞することで見え方が変わる「屏風」、巧みな彫りや摺りが味わえる「高精細印刷の浮世絵」、細かい描写が実感できる「原寸大図版」等を掲載し、「なるほど」「わっ、すごい」等の実感的な理解を基に生徒の対話が生まれるように工夫しています。

代表著作者　村上尚徳先生



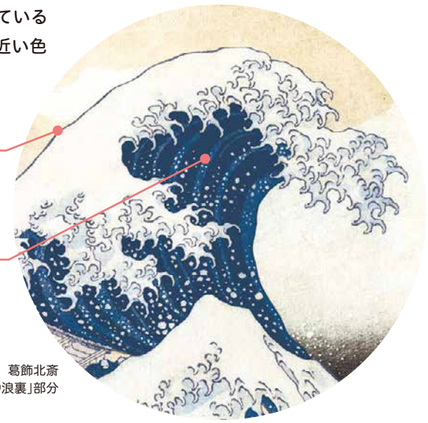
実感的理解を生み出す造本上の工夫②

高精細印刷の浮世絵ページ

2・3上に掲載されている3作品の浮世絵は、特色インクと高精細印刷技術を用いて色味や細部の彫りの再現に努めています。 2・3上p.24-29「浮世絵っておもしろい」

2色の藍の違いを鮮明に再現

「神奈川沖浪裏」で使用されている2種類の藍の違い等、実物に近い色味を感じることができます。



本藍
伝統的に使用されていた植物からつくられた藍。

ベロ藍（ベルリン藍）
海外から輸入された化学染料の藍。濃淡で波を表現。

葛飾北斎
「神奈川沖浪裏」部分

TOPICS 実物と遜色のない北斎ブルーを原寸大で

すみだ北斎美術館が所蔵している「神奈川沖浪裏」は、北斎が色味を監修した初摺の作品です。摺り始めから200枚程度を初摺と言い、本作はその前半の特にきれいに摺られたものです。実物は1年に1度しかお見せすることができませんが、日文教科書では、全く同じと言えるほどの印刷で鑑賞していただけます。

著作者　元すみだ北斎美術館館長
橋本光明（はしもとみつあき）先生

日文のここがこだわり

北斎ブルー再現の舞台裏

より実物に近い色を出すために熟練の製版職人が何度も色を調整し、元すみだ北斎美術館館長の橋本先生と浮世絵研究者である内藤正人先生が色校正に関わりました。

藍の調子を出すために
インクを何度も練り直す。

刷り上がりを
入念に確認。

彫りの線の細やかさが分かる

丹念に彫られた髪の毛の一本一本の線まで見ることができます。

喜多川歌麿
「ポッピンを吹く娘」部分
細かい髪の毛は、彫師が彫って表現。その技のすごさを実感できる。

TOPICS 江戸時代の人物画の見どころを再現

人物を描いた浮世絵は、髪の毛の生え際が見どころになっています。通常は、つぶれてしまう細かな部分なのですが、教科書では丁寧に印刷されていて、実物をイメージするにはとてもよいでしょう。当時の人と同じような感覚で作品を鑑賞することができます。

著作者　慶應義塾大学教授　内藤正人（ないとうまさと）先生

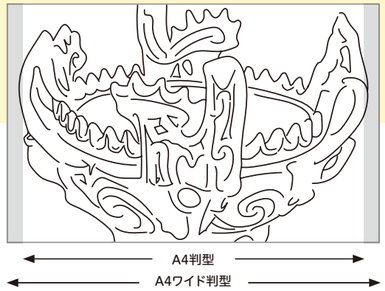
実感的理解を生み出す造本上の工夫③

原寸大図版で大きさを体感

生徒が作品の大きさを実感できるとともに、細部の表現を鑑賞できるように、各分冊で原寸大の鑑賞画を掲載しています。

A4ワイド判型だから実現可能に

教科書はA4判よりも幅が2㎝広いA4ワイド判です。見開き幅45.9㎝となり、火焔型土器はこの判型だからこそ原寸大での掲載が実現できました。



原寸大

原寸大表示を示すマーク。

原寸大鑑賞画

各学年で適切に配置しています。

学年	頁	作品名
1	p.3-4	グランド・ジャット島の日曜日の午後
	p.56-57	火焔型土器
2・3上	p.26-27	「冨嶽三十六景」より神奈川沖浪裏
2・3下	p.25	誕生

1p.56-57「火焔型土器」部分

❶火焔型土器（部分／全体）国宝
［陶土（とうど）／高さ46.5cm×最大径43.8cm］
縄文時代中期
十日町（とおかまち）市博物館蔵［新潟県］

360度で見よう

もっと知りたい　土器 模様

進度に合わせて学べる QRコンテンツ

Check! 「学びのはじめに」は ➡ 14・15ページをご覧ください。

資料動画や作品スライドショー、技法の説明動画等、全てのQRコンテンツは、進度に応じた個別最適な学びに対応し、また協働的な学びに活用できる内容になっています。

表紙・巻頭オリエンテーション 鑑賞を深める動画

各冊の裏表紙には、表紙と巻頭オリエンテーションの作品に込められた作者の思いや、描かれた背景を紹介する動画を収録しています。作品への理解を深めるとともに授業開きでも活用できます。

美術1では表紙の作品「グランド・ジャット島の日曜日の午後」に使用された技法「点描」を、1年生で学ぶ「色の性質」と併せて解説。

著名人や作家のインタビュー 動画も豊富

2・3下の巻頭で登場した所ジョージさんのインタビュー動画や、作品が掲載されている作家のアーカイブ映像など豊富な映像資料で、生徒の興味をより高めることが期待できます。

岡本太郎や所ジョージさんをはじめ、紙面に登場した作家等のインタビューを多数掲載。

全国の生徒作品を鑑賞できる みんなの作品ギャラリー

各冊の奥付ページのQRコードからは、全国の生徒作品を見ることができます。活動に入る前や、活動の途中で作品づくりのヒントとして活用できます。

分野、テーマごとに整理されて、見たい作品を探しやすい。

表現の幅を広げる360度鑑賞

タッチ操作で、立体作品を見たい角度で鑑賞することができます。立体作品に重要な動勢や量感を捉えやすくなるため、表現活動の幅が広がります。

QRコンテンツについて

詳しくは
令和7年度版『中学校美術教科書』
内容解説資料（別冊）教科書QRコンテンツ
～「個別最適な学び」のために～

縦方向、
横方向に動かして
見ることができる。

実際にご覧いただけます

美術1 101点　美術2・3上 46点　美術2・3下 35点

教科書QRコンテンツ一覧

	頁	教科書の構成	題材名／資料タイトル	コンテンツ内容	種別
美術1	P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
	全題材	全題材	全題材の主文	題材導入「学びのはじめに」 18点	動画
	P.15	題材	題材	生徒作品「実りの中の異空間」	作品を360度回転して見られる画像
	P.21	題材	題材	生徒作品「エサとりかまきり」	作品を360度回転して見られる画像
	P.23	題材	題材	版表現の種類（凸版、凹版、孔版、平版）	資料動画
	P.24	題材	題材	風神雷神図屏風	作品鑑賞動画
	P.41	題材	題材	生徒作品「美味しい実」／KOMA KOMA × 日文	アニメーション/アプリケーション
	P.57	資料	火焔型土器	火焔型土器	作品を360度回転して見られる画像
	P.59	資料	発想・構想の手立て①	鈴木康広さん『「ファスナーの船」はこうして生まれた』『「ファスナーの船」のパラパラマンガ』	資料動画
	P.59	資料	発想・構想の手立て①	田中達也さん「芯シティ」ほか２点	スライドショー
	P.61	資料	発想・構想の手立て②	シンキングツール	アプリケーション
	P.61	資料	発想・構想の手立て②	ものすごい図鑑	NHK for School	外部リンク
	P.61	資料	発想・構想の手立て②	Google 3D/AR「ベンガルトラ」ほか28点	外部リンク
	P.62	資料	どんなふうに描きたい?	鉛筆で描く（ハッチング、寝かせて描く、こする、ねり消しで描く、水彩で描く）	技法の説明動画
	P.62	資料	どんなふうに描きたい?	リンゴの絵（鉛筆、色鉛筆、透明水彩絵の具、不透明水彩絵の具）	スライドショー
	P.63	資料	さまざまな技法で描く	スパッタリングほか８点	技法の説明動画
	P.64	資料	木版画	彫刻刀の種類と特徴、下絵の転写、彫り進み版画、一版多色版画、彫刻刀の持ち方	技法の説明動画
	P.64	資料	水墨画の表現	水墨画の準備、水墨画の技法	技法の説明動画
	P.65	資料	文字の基本	文字のイメージ例として街中の文字8点	スライドショー
	P.66	資料	木でつくる	木材加工のしかた（電動糸のこぎりの準備、薬研彫りほか7点）	技法の説明動画
	P.68	資料	粘土でつくる	焼き物づくりの流れ、たまづくり、ひもづくり、板づくり	技法の説明動画
	P.71－72	資料	色彩の基本・仕組み	三原色／色の三属性	資料動画
	P.73	資料	美術館へ行こう	美術館リンク集	外部リンク
	P.75	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
	裏表紙	裏表紙	裏表紙	グランド・ジャット島の日曜日の午後	作品解説動画
美術2・3上	P.5	オリエンテーション	あなたの美を見つけて	生徒作品	スライドショー
	P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
	全題材	全題材	全題材の主文	題材導入「学びのはじめに」 17点	動画
	P.10－11	題材	現代美術にザワザワザワッ！	レアンドロ・エルリッヒ「スイミング・プール」／クワクポリョウタ「LOST #16」	スライドショー／資料動画
	P.12	題材	瞬間の美しさを形に	生徒作品「面!!」	作品を360度回転して見られる画像
	P.19	題材	しぐさで語る動物たち	生徒作品「魚を捕る白頭鷲」	作品を360度回転して見られる画像
	P.36－37	題材	思いが飛び出すカード	パイパー・ウェンデル「誕生祝いのポップアップカード」／生徒作品「I wish you happiness!」	資料動画
	P.42－43	題材	その1枚が心を動かす	「ヒロシマ・アピールズ」ポスター／「家でやろう。」ほか11点	スライドショー
	P.50	資料	岡本太郎“芸術はみんなのもの“	岡本太郎のパブリックアート／EXPO'70 太陽の塔バーチャルツアー	作品鑑賞動画／資料動画
	P.52	資料	暮らしに息づくパブリックアート	十和田市現代美術館のパブリックアート	スライドショー
	P.54	資料	立体を描く	立体を描く（立方体を描く、球体を描く）	技法の説明動画
	P.55	資料	人物をつくる	人物をつくる／デッサン人形アプリ	技法の説明動画／アプリケーション
	P.56	資料	北斎の大波	葛飾北斎が描いた波の絵	作品鑑賞動画
	P.57	資料	金属でつくる	金属加工のしかた（切る、打ち出す、溶かす）	技法の説明動画
	P.63	資料	色彩の特徴を深く知る	配色のいろいろ	資料動画
	P.65	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
	裏表紙	裏表紙	裏表紙	「冨嶽三十六景」より 凱風快晴	作品解説動画
美術2・3下	P.5	オリエンテーション	社会に生きる美術の力	所ジョージさん、吉藤オリィさん、吉田ユニさんからの中学生へのメッセージ	インタビュー動画、読み物
	P.8	オリエンテーション	教科書の使い方	教科書ガイダンス	動画
	全題材	全題材	全題材の主文	題材導入「学びのはじめに」 15点	動画
	P.42	題材	動きで伝えるメッセージ	「私の心を離さない大村市（長崎県大村市移住・定住促進PR動画）」2点	動画
	P.43	題材	動きで伝えるメッセージ	生徒作品	動画
	P.44	題材	デザインで地域を豊かに	梅原真さんインタビュー／梅原真「栗山」ほか６点	インタビュー動画／スライドショー
	P.48	資料	さまざまなアートに触れよう	芸術祭に行ってみよう	資料動画
	P.51	資料	さまざまなアートに触れよう	加川広重さんインタビュー／加川広重「雪に包まれる被災地」	インタビュー動画／スライドショー
	P.52	資料	動画で表現する	撮影や編集の技法／未来の博物館 四季をめぐる 高精細複製屏風	技法の説明動画／資料動画
	P.54	資料	絵巻物の世界	鳥獣人物戯画 甲巻｜ものすごい図鑑｜NHK for School／絵巻物の見方	外部リンク／資料動画
	P.61	奥付	みんなの作品ギャラリー	生徒作品	外部リンク
	裏表紙	裏表紙	裏表紙	Tunnel of Light	作品解説動画